4K UHD Decoder(LAN-UHD265D-1)

H.264/H.265/MJPEG Decoder

User Manual

アイゼック株式会社

製品の定格及びデザインと仕様は改善等のため予告なく変更する場合があります。

ビデオレシーバーのご購入にありがとうございます。
製品を設置する前に下記注意事項をご一読ください。

- ✧ PoE 給電と電源ケーブルの両方を接続すると故障しますので絶対に両方を接続しないよう注意ください
- ✧ ビデオサーバーを設置する前に、必ず電源を切ってください[2]。
- ✧ 直射日光下やほこりの多い場所には設置しないでください。
- ✧ 仕様書で指定された温度と湿度の範囲内でご使用してください[2]。
- ✧ 振動や強い磁場の環境下で製品を操作しないでください。
- ✧ 通気孔に導電性物質を入れないでください[2]。
- ✧ 製品のトップカバーを開けないでください。これは、コンポーネントの故障や感電の原因となります。
- ✧ 過熱を防ぐ為通気孔から 10cm 以内に物を置かないで下さい。又壁面などから離してください。
- ✧ 電源を接続する前に、必ず適切な電圧で有る事を確認してください。

目次

1. 本製品について 4
1.1 特長 4
1.1.1 ビデオ 4
1.1.2 オーディオ 4
1.1.3 ネットワーク 4
1.1.4 シリアルデータ 4
1.1.5 センサ及びアラーム 4
1.1.6 USB 4
1.1.7 ユーザーインターフェイス 4
1.2 製品および付属品 5
1.3 各部の名称と機能 5
1.3.1 フロントパネル 5
1.3.2 リアパネル 6
1.4 システムの接続 6
1.4.1 接続例 6
2. 設定 7
2.1 設定画面へのログイン 7
2.2 接続手順 7
3. 設定画面 10
3.1 設定画面への遷移 10
3.2 Video＆Audio 10
3.2.1 Information 10
3.2.2 オーディオ 10
3.2.3 Output 11
3.2.4 Output OSD 12
3.3 ネットワーク 13
3.3.1 IP&Port 13
3.3.2 QoS 14
3.3.3 リモート 15
3.3.4 Discovery 17
3.3.5 SNMP 17
3.3.6 DDNS 18
3.3.7 IP filtering 18
3.3.8 SSL 18
3.3.9 接続 19
3.3.10 Decode List 19
3.4 イベント 19
3.4.1 Notification 19

3.4.2 User Defined Event 20
3.4.3 警報 20
3.4.4 HTTP Action 21
3.5 録画 21
3.5.1 全般 21
3.5.2 Schedule 22
3.5.3 ディスクインフォ 23
3.5.4 検索ページ 23
3.6 Device 24
3.6.1 Information 24
3.6.2 シリアル 24
3.7 PTZ 25
3.8 ユーザー 25
3.8.1 ユーザーリスト 25
3.8.2 ログインポリシー 27
3.9 システム 27
3.9.1 System Information 27
3.9.2 Upgrade&Reboot 28
3.9.3 時刻 29
3.9.4 OSD 30
3.9.5 言語 30
3.9.6 LOG 31
4. 仕様 32
5. 付録 33
5.1 センサー＆アラームポート 33
5.1.1 センサーポート 33
5.1.2 アラームポート 33
5.2 :Serial ポート 33
5.2.1 RS-232 ポート 33
5.2.2 RS-422/485 ポート 34
5.3 映像切替機能 34

1. 本製品について

1.1 特長

LAN-UHD2665D-1 は、LAN や ADSL/VDSL を介して IP カメラ映像や音声をデコードして HDMI、CVBS などに出力できます。

1.1.1 ビデオ

- 60 FPS@3840×2160 まで
- 高効率圧縮アルゴリズム、H.265＆H.264＆MJPEG サポート

1.1.2 オーディオ

-マルチ伝送モード
-単方向モード ： エンコーダ又はデコーダから送信又は受信の 1 方向
-双方向モード ： エンコーダ又はデコーダから送受信の双方向

1.1.3 ネットワーク

- 固定 IP＆動的 IP（DHCP）のサポート
- 1:1、1:N のサポート
- マルチキャスティング
- ネットワークの状態に応じて自動送信レート制御
- ONVIF、PSIA に準拠

1.1.4 シリアルデータ

- RS-485 サポート
- データパススルーモード：IP カメラとデコーダとの間のシリアルデータ通信
- データはパススルーモード：シリアルデータ通信をエンコーダ デコーダとの間で伝送

1.1.5 センサ及びアラーム

- 外部センサとアラームデバイスの直接接続をサポート
- イベントアラーム

1.1.6 USB

- 外部 USB ストレージを接続し録画

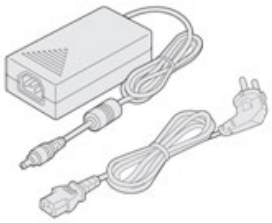
1.1.7 ユーザーインターフェイス

- True Manager と呼ばれる専用のプログラムを介して診断とアップグレード
- Internet Explorer を使用してシステム設定

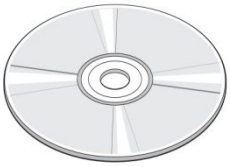
1.2 製品および付属品

ビデオサーバー

クイックマニュアル

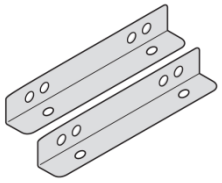


AC アダプタ及び電源コード



ソフトウエア及び
マニュアル CD

取付螺子



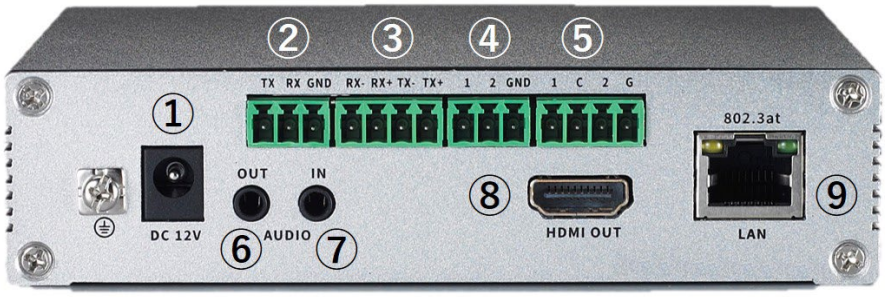
ブラケット

1.3 各部の名称と機能

1.3.1 フロントパネル

#	名称	状態
①	VIDEO OUT	コンポジット映像出力ポート(コネクタは BNC)
②	PWR(電源ランプ)	消灯:電源 OFF　緑点灯:電源 ON
③	STATUS(状態表示)	緑点滅:状態正常　赤:状態異常
④	LAN	消灯:OFF　緑点滅:正常接続　赤:接続トライ中　橙:接続異常
⑤	HDMI	消灯:OFF　緑点滅:正常接続　赤:データロス
⑥	USB	外部 USB メモリー及び HDD 接続用
⑦	RESET ボタン	設定を初期化します。本体からピット音(15 秒程度)するまで押してください。

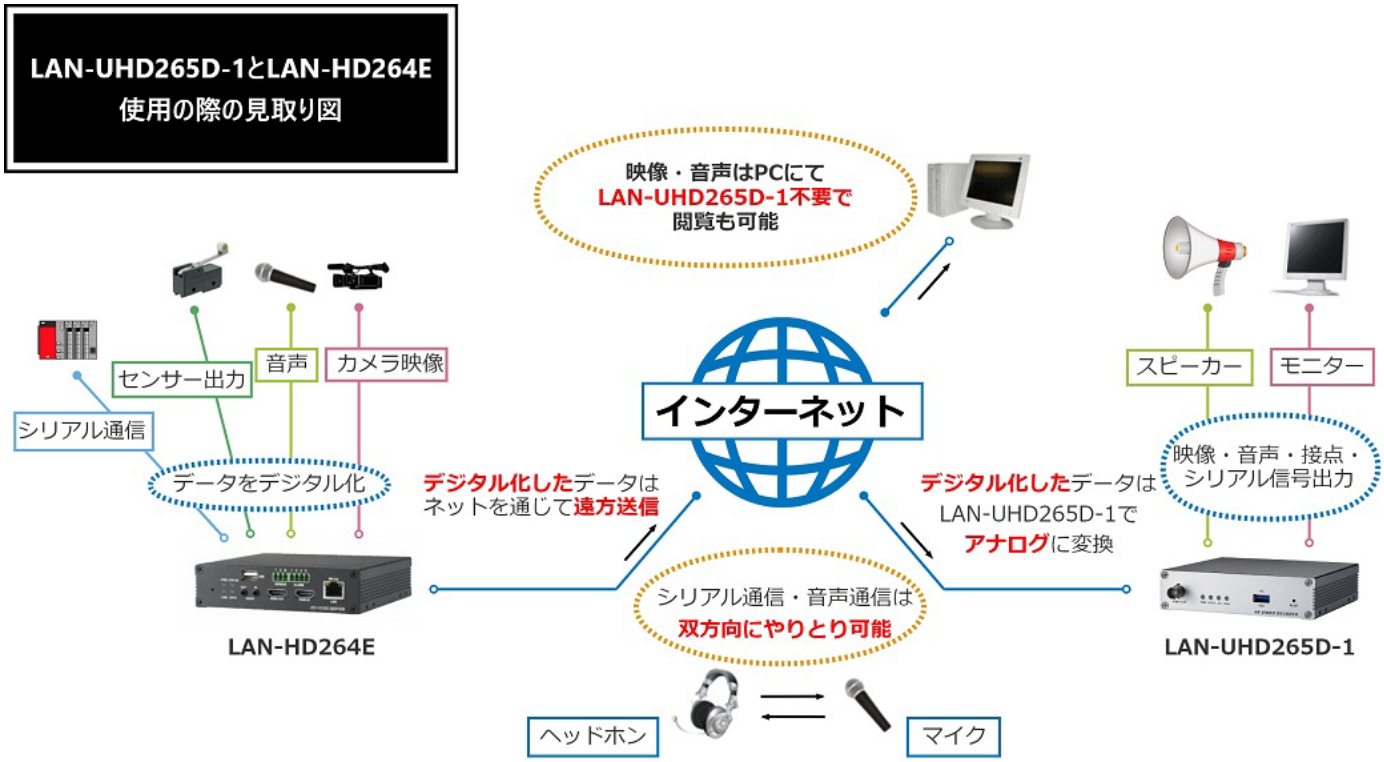
1.3.2 リアパネル



#	名称	状態
①	電源	DC12V 電源を供給します（注：PoE 給電使用の際は接続しないようにしてください）
②	RS-232	RS-232 入力用端子台
③	RS-422/485	RS-422/485 入力用端子台
④	SENSOR	外付けセンサー接続用端子
⑤	ALARM	外付けアラーム機器接続用端子
⑥	音声出力	音声出力ポート（3.5mm モノラルミニジャック LINE）
⑦	音声入力	音声入力ポート（3.5mm モノラルミニジャック LINE）
⑧	LAN	本機をネットワークに接続します（10/100/1000Mbps）

1.4 システムの接続

1.4.1 接続例



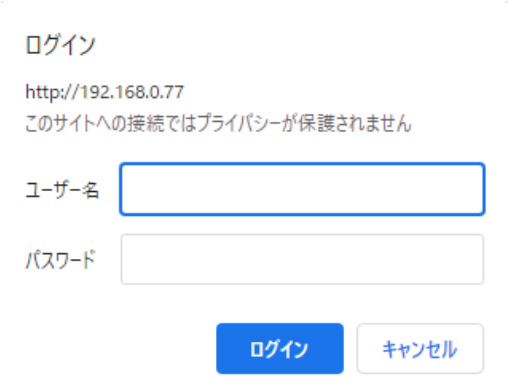
2. 設定

2.1 設定画面へのログイン

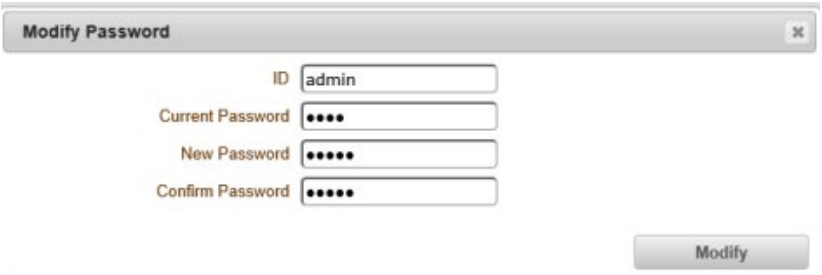
WEB ブラウザを使用して設定を行います。
ログイン初期設定
IP アドレス：192.168.10.100/24　（IP アドレスは付属ソフトの True Manager で変更できます）
ユーザー名：admin
パスワード：1234

2.2 接続手順

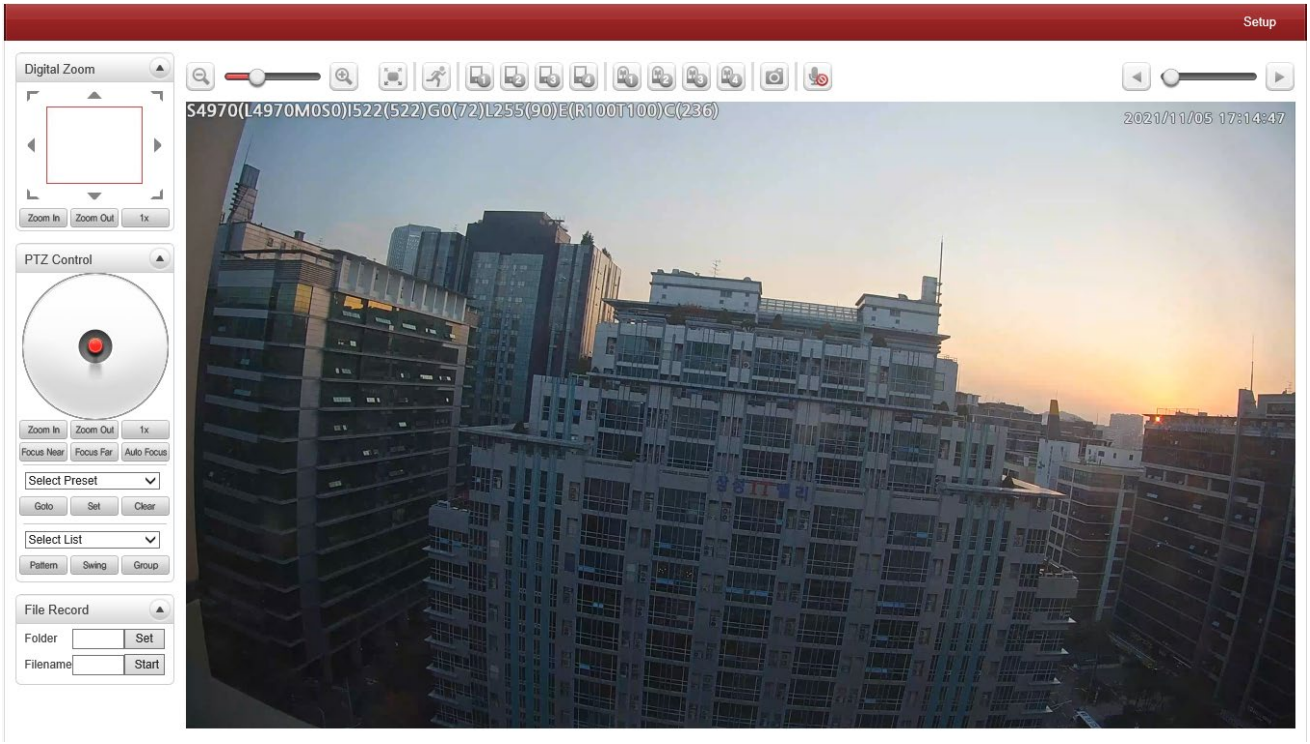
① Web ブラウザを開き、本製品の IP アドレスを入力します。
② ポップアップが表示されるのでユーザー名とパスワードを入力しログインを押します。

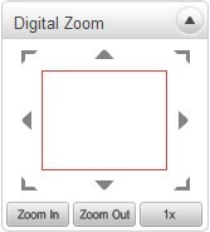


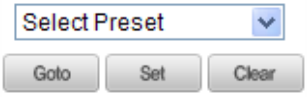
③ パスワード変更画面が表示されるので Current Password に古いパスワード、それ以外には新しいパスワードを入力して Modify を押します。



④ 再度ログイン画面のポップアップが表示されるので新しいパスワードを入力してログインすると下記のような設定画面に入ります。



View Size 	画面のサイズを調整します。 画面サイズは、圧縮解像度に応じて調整します。
Digital Zoom 	画面上でデジタルズームを操作します。ズームするほど、操作パネルの四角が小さくなります。四角の位置を移動することで、映像の位置を変えることができます。x1を押すと、通常の大きさに戻ります。
PTZ Control 	PTZ および PTZ Control Panel は、シリアルポートで接続された外部 PTZ デバイスを制御するために使用されます。PTZ コントロールパネルの Zoom in/out ボタンでズーム制御が可能です（デジタルズームを使用する場合は、Camera タブで Digital zoom ON を選択してください）。 - Stop 実行中のアクションを停止します。 -Focus Near, Focus Far, Auto Focus レンズのフォーカスを調整します。
Select Preset	PTZ カメラがシリアルポート経由でビデオサーバーに接続されてい

	る場合、プリセットポジションを設定し、特定のプリセットポジションに移動する Set -Goto プリセットエントリーが設定されている場合、選択されたプリセットエントリーに移動します。 - Set 現在位置を選択されたプリセットエントリーに設定します。 - Clear 選択したプリセットエントリーを削除します。
Select List 	PTZ カメラのパターン、スイング、グループ機能を有効にします。
Sensor Input and Alarm Output 	センサー及びアラーム状態を表示します。左側2つはセンサ入力があると赤く光ります。右側二つはアラーム出力があった際に赤く光ります。

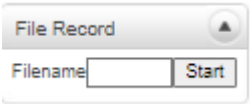
Snapshot

ビデオ画像をキャプチャし、BMPまたはJPEGファイルとして保存することができます。

Talk

不使用（本製品非対応）

File Record



映像をPCに録画します。Filenameに任意のファイル名を入力しStartを押すと録画します。録画を停止する際はStopを押すと録画された映像がPCにダウンロードされます。

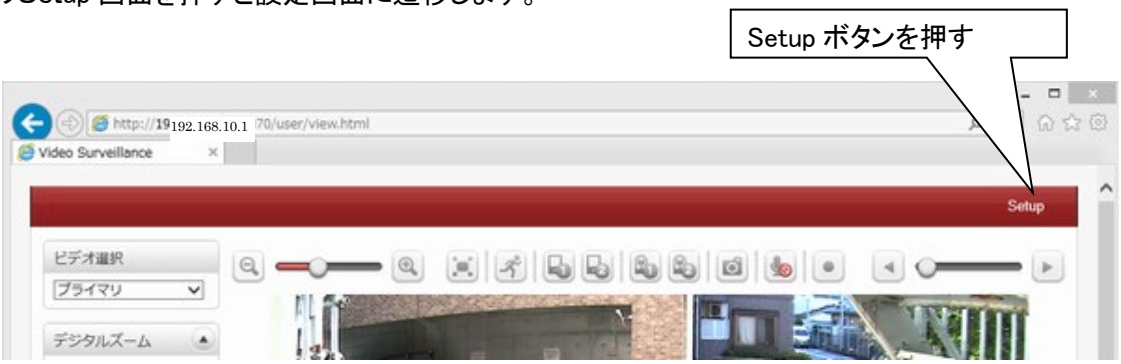
Display Buffer

Web ブラウザに表示する前にバッファリングするビデオフレームの数を設定します。値が大きいほどレイテンシーを犠牲にして、より滑らかな映像になります。10 ~ 15 フレームの設定は、ほとんどの状況で一般的に使用できます。

3. 設定画面

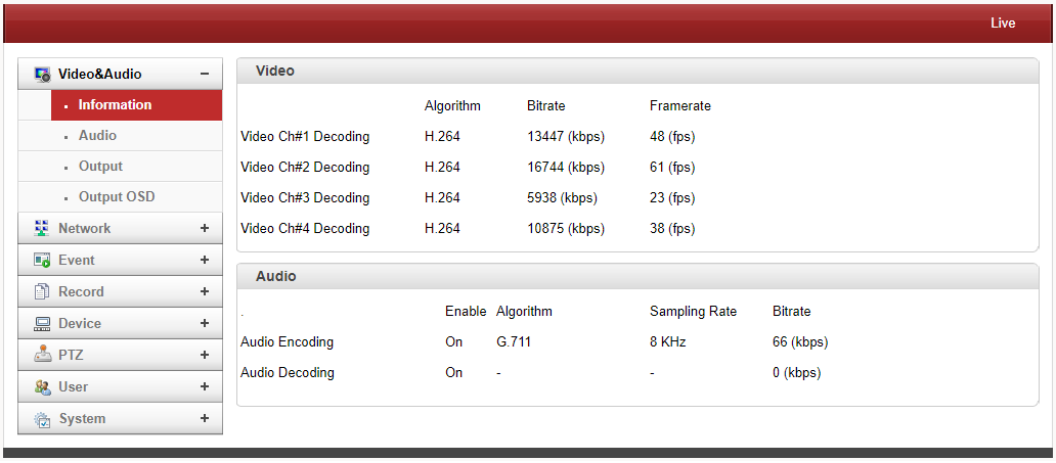
3.1 設定画面への遷移

右上のSetup 画面を押すと設定画面に遷移します。



3.2 Video＆Audio

3.2.1 Information



左メニューから Information をクリックするとビデオとオーディオのデコード情報を確認できます。

3.2.2 オーディオ

- Audio Source

オーディオソースを選択します。使用またはアナログステレオ（Embedded or Analog stereo）

- **アルゴリズム**

オーディオアルゴリズムを選択します： G.711 または AAC
クライアントからサーバ方向に G.711 と AAC はサポートされています。

- **Sampling Rate**

サンプリングレートは、離散信号を作るために連続的な信号単位時間あたりのサンプル数を定義する。

- ビットレート

G.711 はサンプリングレートが 64 Kbps に固定。
AAC は、サンプリングレートが 64Khz と 128Khz が選択できます。
カメラがデコードに接続されている場合、デコーダオーディオアルゴリズムが適切に音声を送信するために同一に設定する必要があることに注意してください

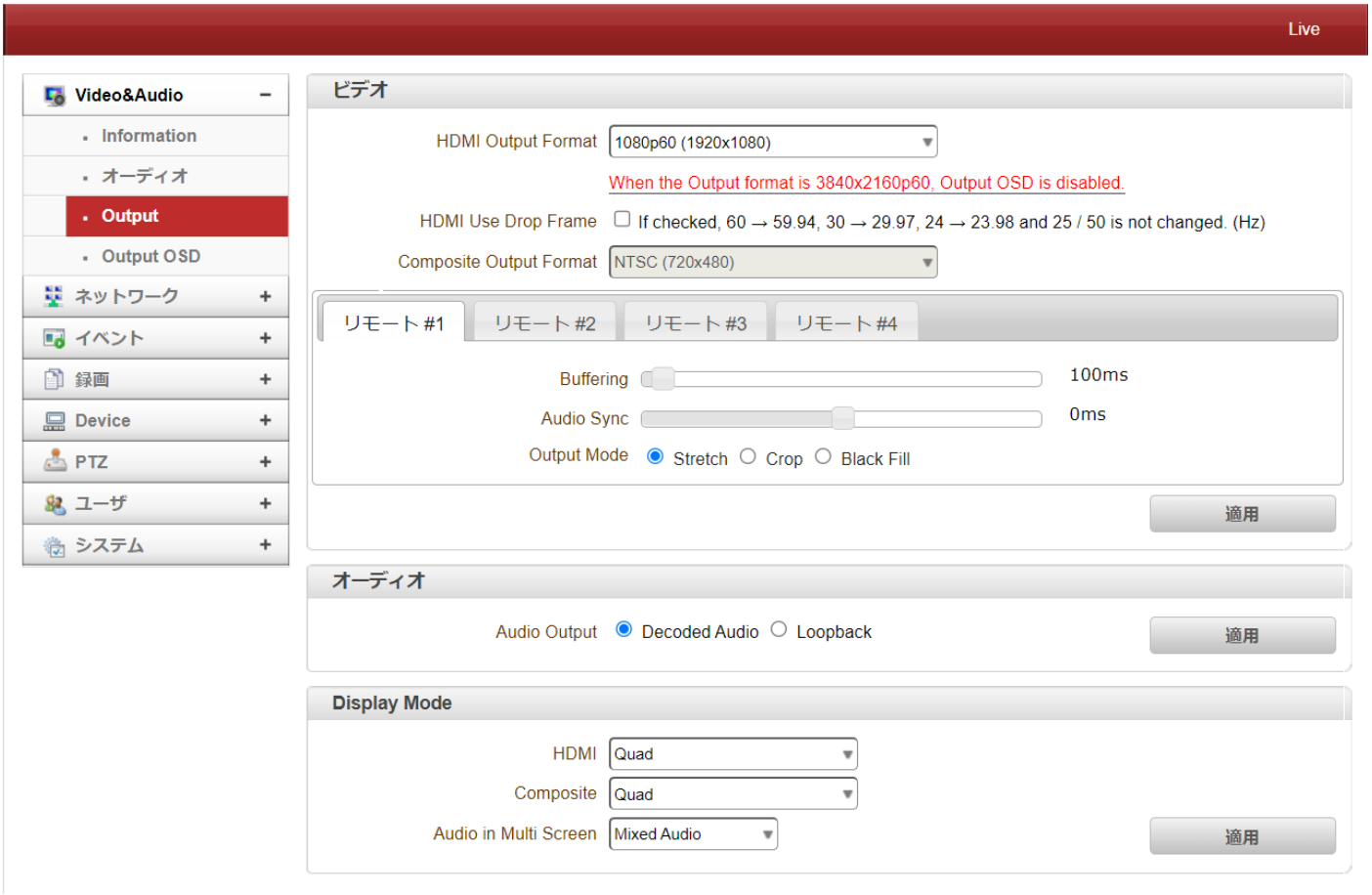
- モード

オーディオの送信受信モードを選択します

- 音声入力調整

0 から 31 の間で音声入力ゲインを設定します。

3.2.3 Output



- **HDMI Output Format：**

  HDMI 出力のフォーマットを選択します。

- **HDMI Use Drop Frame**

  チェックボックスにチェックすると 60Hz を 59.94Hz, 30Hz を 29.97Hz, 24Hz を 23.98Hz に変換します。

- **Composite Output**

  HDMI と同時に出力する映像出力を選択します。

- **Composite Out Format**

  コンポジット出力のフォーマットを選択します。(本機では NTSC(720×480)以外に変更出来ません)

- **Buffering**

  バッファリングするビデオフレームの数を設定します。 値を大きくすると、レイテンシーが犠牲になり、ビデオがスムーズになります。 ほとんどの場合、10～15 フレームの設定で使用します。

- **Audio Sync**

  オーディオ信号がビデオ信号と同期しない場合は、ビデオ信号に合わせてオーディオ遅延時間を調整してください。 オーディオ遅延時間は-1,000ms から 1,000ms の間で設定できます。

- **Output Mode**

  出力モードを Stretch, Crop and Black Fill の 3 つから選択できます。

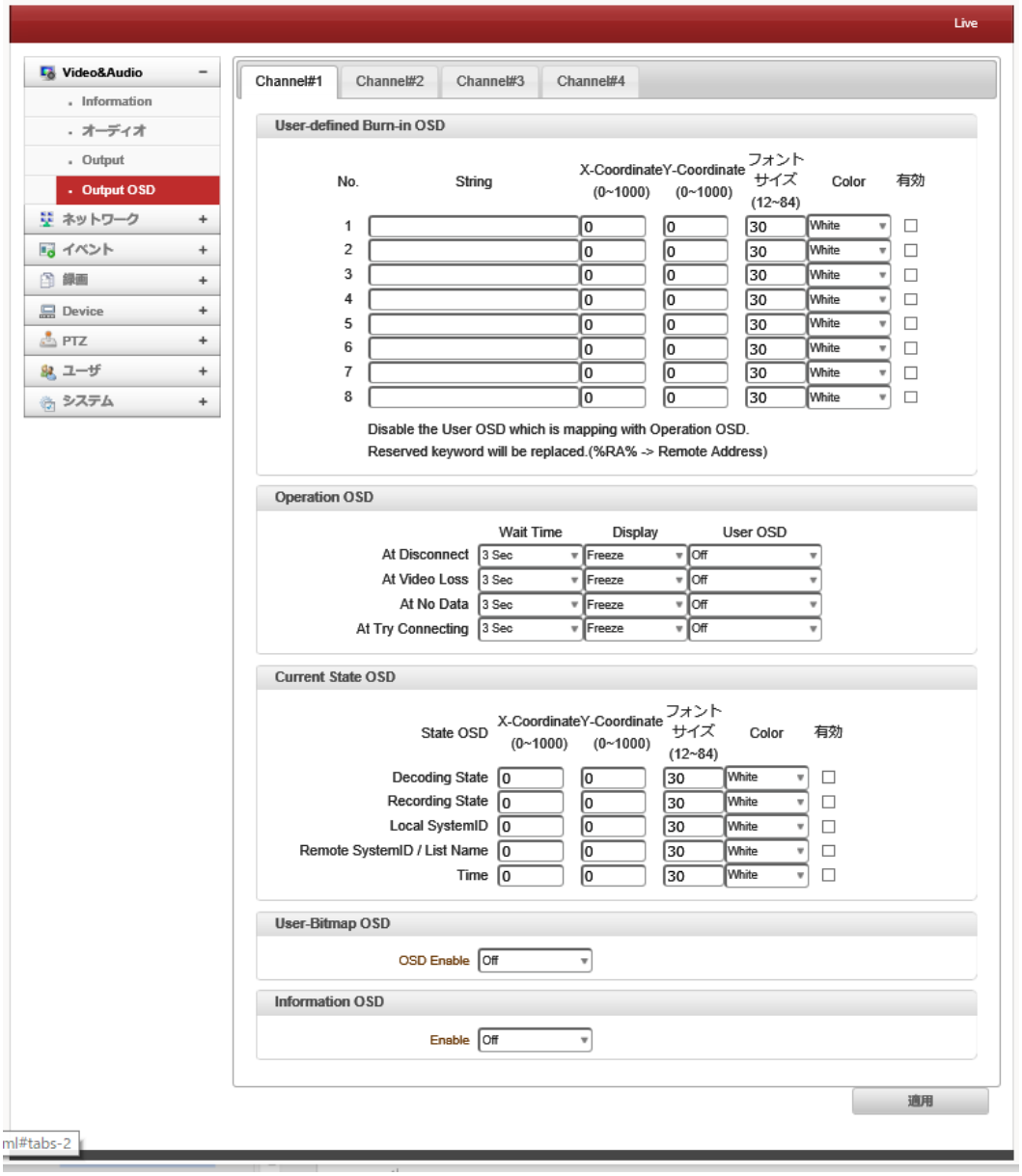
- **Audio Output**

  Audio 出力から出す音声を選択できます。
  Decoded Audio :デコードした音源を出力します。
  Loop Back :本機の Audio Input に繋がっている音源を出力します。

- **Display Mode**

  HDMI、Composite で出力する映像の表示形式を選択できます。単画面表示や4分割表示が選択できます。

3.2.4 Output OSD

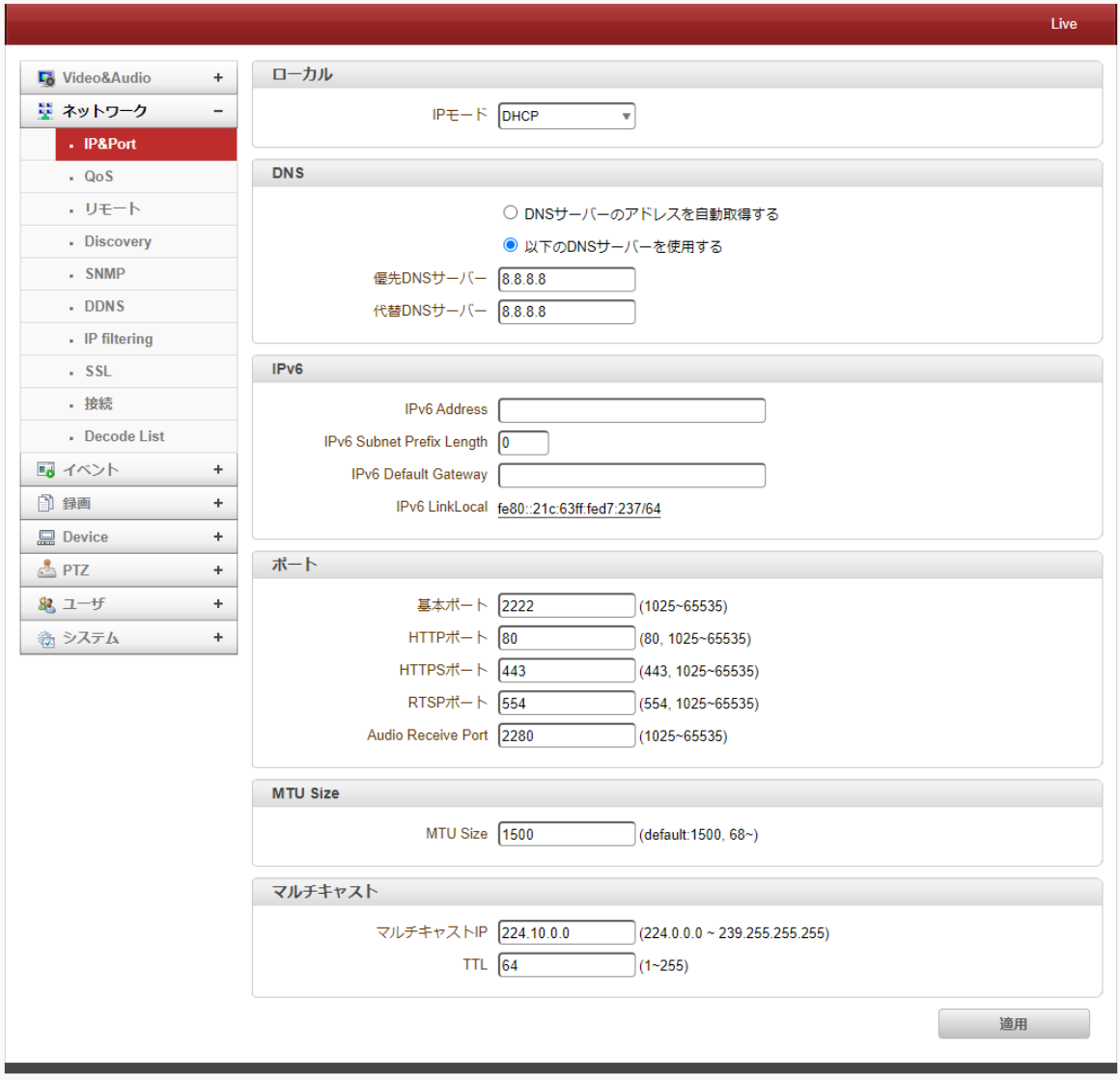


- User- Defined Burn-in OSD
- OSDを有効または無効にできます。 X座標またはY座標は、値に応じて調整できます。 ビットマップ画像をアップロードできます。
- Operation OSD
- 切断、ビデオ損失、データなし、接続の試行などのイベントが発生した場合、ユーザーはOSDでユーザー定義書き込みのいずれかを選択し、待機時間と表示（フリーズ、ブラックスクリーン、ブルースクリーン）を選択できます。
- Current State OSD
- ユーザーは現在の状態を画面に挿入できます。
- User Bitmap OSD
- ビットマップファイルをアップロードできます。
- Information OSD

  Information OSD は、位置、フォントサイズ、色、ウィンドウの色を有効にできます。.

3.3 ネットワーク

3.3.1 IP&Port



● ローカル

IP モードを固定 IP または DHCP のどちらかを選択します。

固定 IP を選択した場合、ローカル IP、ローカルゲートウェイ、ローカルサブネットを入力します。

● DNS

DNS サーバーのアドレスを自動取得する

IP モードが DHCP の時に自動的に DNS サーバーアドレスを取得します。

以下の DNS サーバーを使用する

IP モードが固定 IP の場合、任意の DNS サーバーアドレスを入力します。

● IPv6

本製品では本機能は未サポートの為、使用できません。

● ポート

基本ポート（～655351025）

ベースポート番号を入力してください

ベースポートは、リモートクライアントとの通信のために使用されるポートです。

HTTP ポート（80、～655351025）

Web ベースの接続に使用する HTTP ポートを入力します。

HTTPS ポート（443、～655351025）

ポートはセキュアな HTTP 接続を使用するときは、HTTPS 入力します。

RTSP ポート（554、～655351025）

RTSP 接続に使用する RTSP ポートを入力します。

デフォルト RTSP ポートは 554 です。

Audio Receive Port

本製品では本機能は未サポートの為、使用できません。

● MTU Size

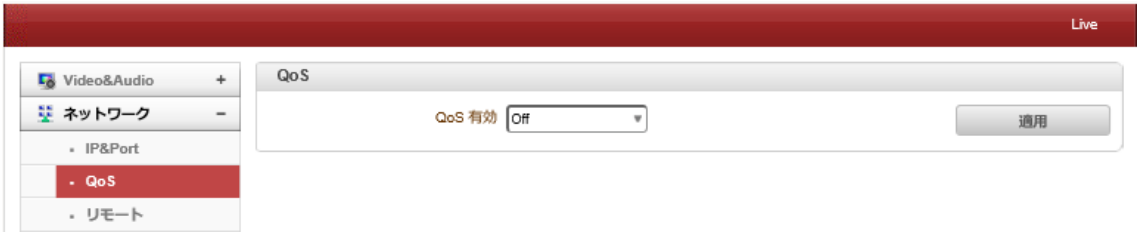
一回のデータ転送にて送信可能な 最大データ量を指定します。

● マルチキャスト

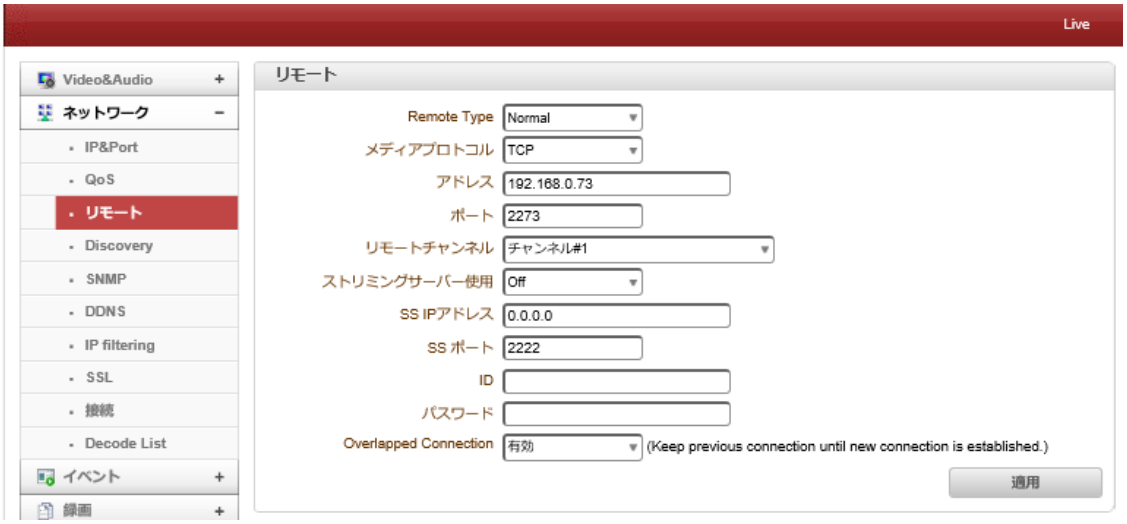
本製品では本機能は未サポートの為、使用できません。

3.3.2 QoS

QoS を有効にする場合 ON を選択し適用を押します。



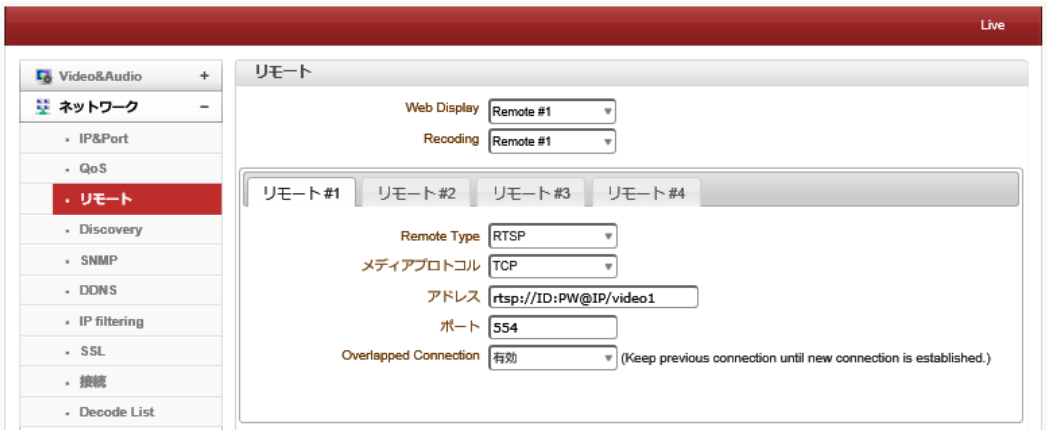
3.3.3　リモート



IP カメラや弊社の LAN シリーズと接続する際に、本箇所を入力します。

詳しくは https://isecj.jp/manual/transfer/common-setup.html を参照ください。

RTSP 接続



Remote　TypeでRTSPを選択するとRTSP接続が可能です。

手順は下記の通りです。

① メディアプロコトル：TCPを選択

② アドレス：接続する機器のRTSPアドレスを入力します。

例：本製品：　*rtsp*://ID:Password@IPadress/video1

axis製カメラ：*rtsp*://IP　Address/axis-media/media.amp

③ ポート：接続する機器側のRTSPポート（標準は554)を入力します。

➢ ONVIF

ONVIF（Open Network Video Interface Forum）を選択すると ONVIF 接続が出来ます。

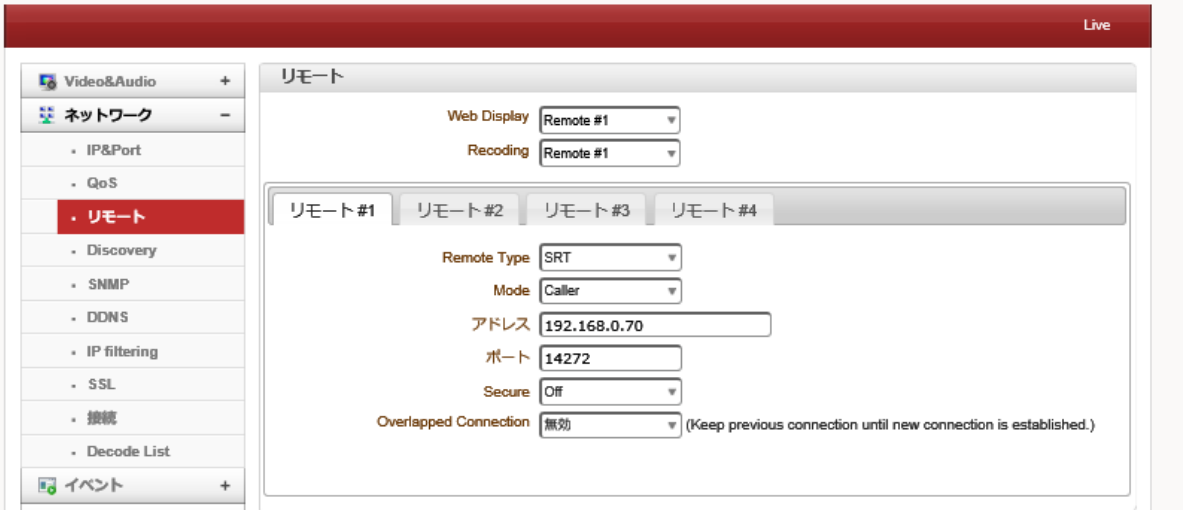
アドレス　：接続する機器の IP アドレス

ポート　　：接続する機器の Web ポート番号

ID　　：接続する機器の ID

パスワード：接続する機器のパスワードを入力し、「Get　Profile　List」を押します。設定が間違っていなければ profile 情報が取得できます。

➢ SRT



SRT は、安全なストリームと簡単なファイアウォールトラバーサルにより、予測不可能なネットワーク全体のストリーミングパフォーマンスを最適化し、最悪のネットワークで最高品質のライブビデオを実現する、オープンソースのビデオ転送プロトコルおよびテクノロジースタックです。

- **Remote Type**

SRT を選択

- **Mode**

Caller または Listener のどちらかを選択します。接続先が Caller だった場合、本機は Listener を選択、逆の場合は Caller を選択してください。

- **アドレス**

接続先のIPアドレスを入力します。

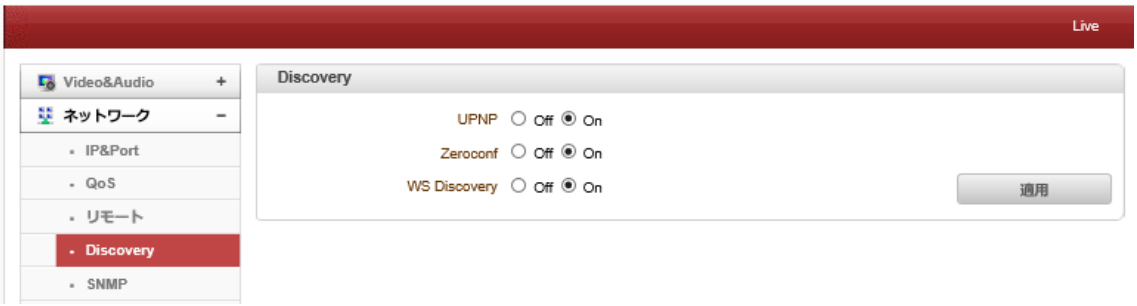
- **ポート**

SRTポートを入力します。

- **Secure**

暗号通信を行いたい場合、AES-128 または AES-256 を選択すると暗号通信が可能です。
AES-128 または AES-256 を選択すると **Passphrase** という欄がでてくるのでそこに暗号用パスワードを入力してください。

3.3.4 Discovery



- **UPNP**

UPnP 機能の ON/OFF を選択できます。ON にする事で UPnP 機能でネットワーク上より本製品を発見できます。

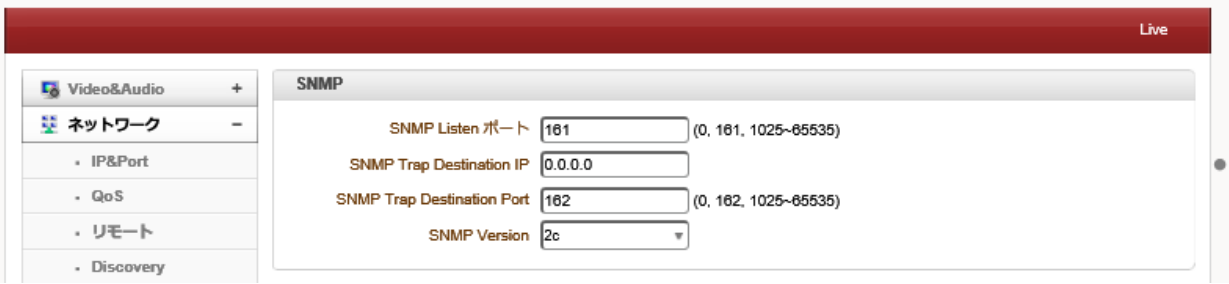
- **Zeroconf**

Zeroconf 機能の ON/OFF を選択できます。ONにする事で zeroconf 機能でネットワーク上より本製品を発見できます。

- **WS Discovery**

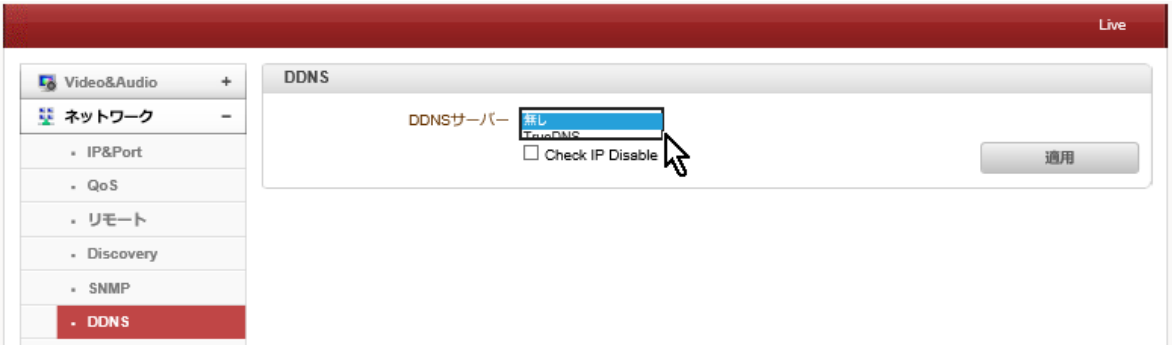
WS Discovery 機能の ON/OFF を選択できます。ONにする事で WS Discovery 機能でネットワーク上より本製品を発見できます。

3.3.5 SNMP



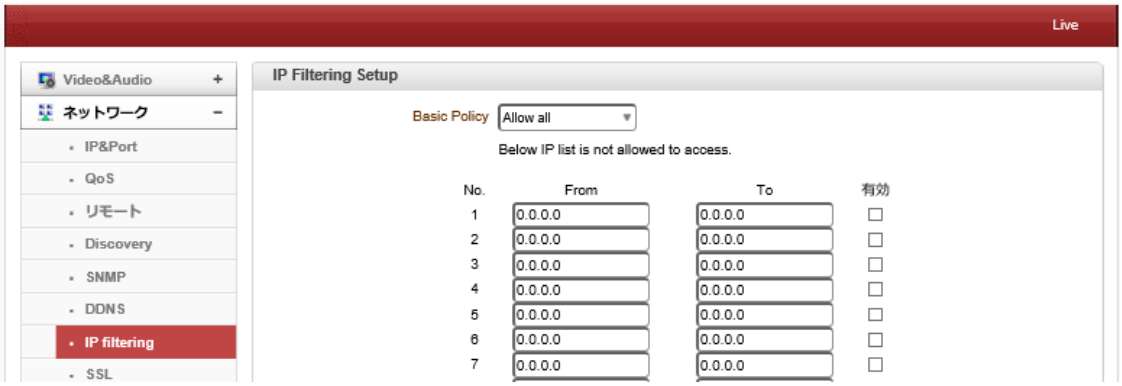
SNMP 機能を使用して本製品の状態管理が可能です。

3.3.6 DDNS



本製品では本機能は未サポートの為、使用できません。

3.3.7 IP filtering



- IP Filtering Setup

指定した IP アドレスからの接続のみ許可または拒否する事ができます。

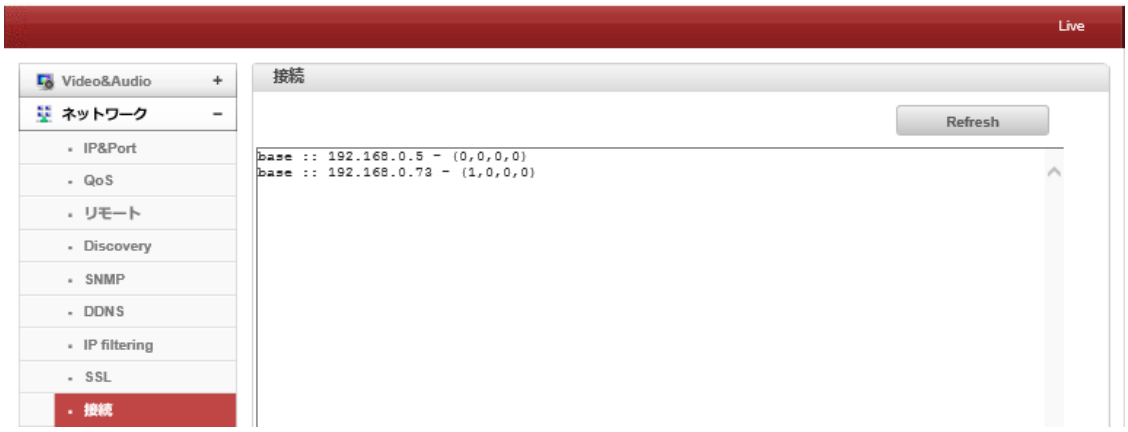
deny All　全てを拒否

Allow　All　すべて許可

3.3.8 SSL

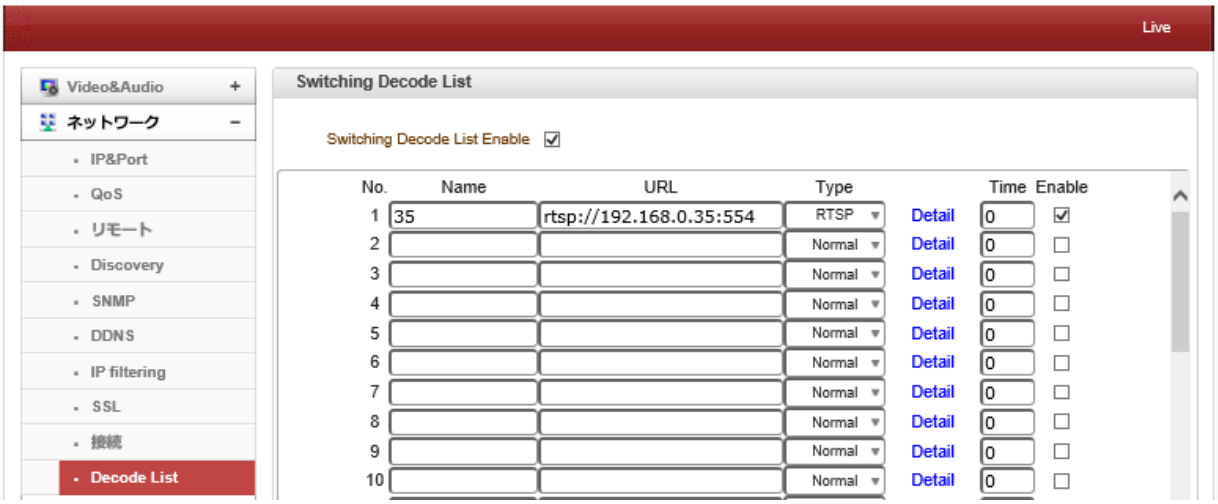
本製品では本機能は未サポートの為、使用できません。

3.3.9 接続



現在システムに接続されたクライアントの IP アドレスが表示されています。

3.3.10 Decode List



複数の機器に接続して巡回が可能です。 最大 25 個設定ができます。

例 rtsp://xxx.yyy.zz:554

デコーダは自動的に RTSP URL を変更します。ユーザーは、自動的に取得し、多くのストリームを取得することができます。

3.4 イベント

3.4.1 Notification

● リモート

次の表は、イベントに対して可能なアクションを示しています。

アクション	説明
ビープ	警告音
警報	リレー出力を出す

● **センサー1～センサー4**

センサーがアクティブになったときのアクションを設定します。 1 つのイベントに複数のアクションを設定できます。

● **Video ビデオロス**

ビデオ入力信号が失われたときのアクションを構成します。 1 つのイベントに複数のアクションを設定できます。

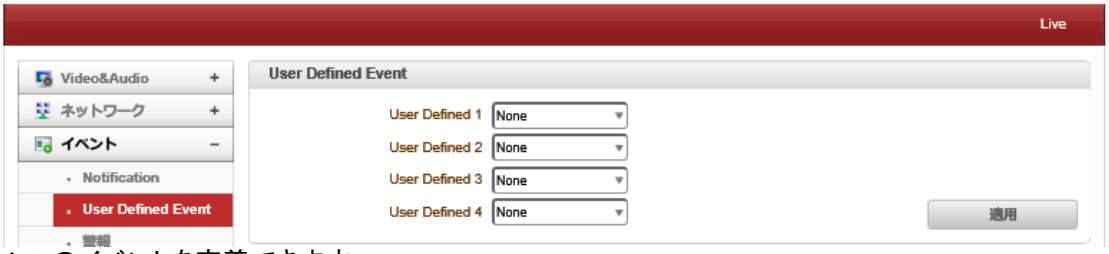
● **動体検知**

モーションディテクト動作時の処理を設定できます。

● **回線切断切断**

ピアシステムとのリンク（接続）が切断された場合の動作を設定します。 1 つのイベントに複数のアクションを設定できます。 このイベントは、カメラからビデオを受信していた最後のクライアントが接続を失ったときに発生します。

3.4.2 User Defined Event

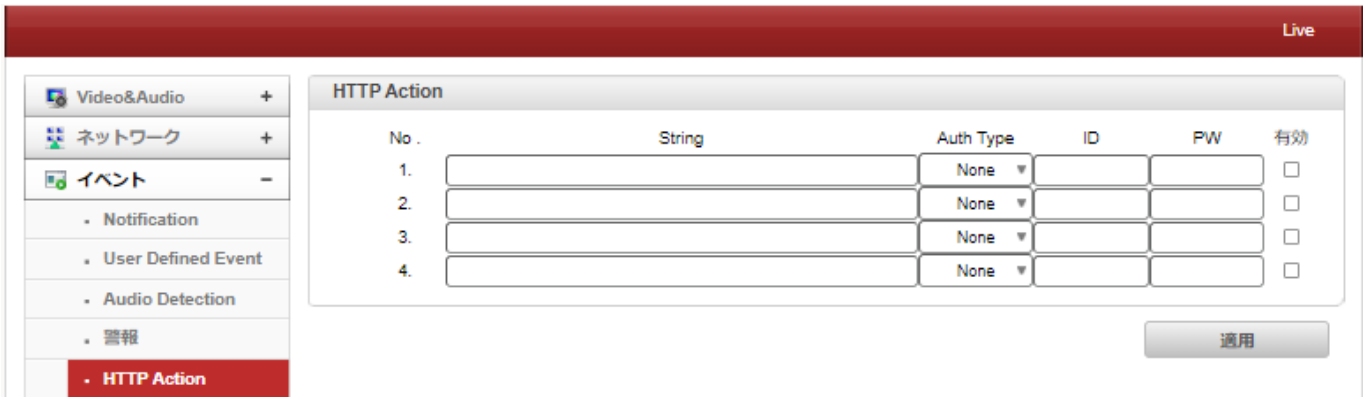


ユーザーは最大 4 つのイベントを定義できます。

3.4.3 警報

イベントの発生時のアラームまたはビープ音活性化の期間を設定します。

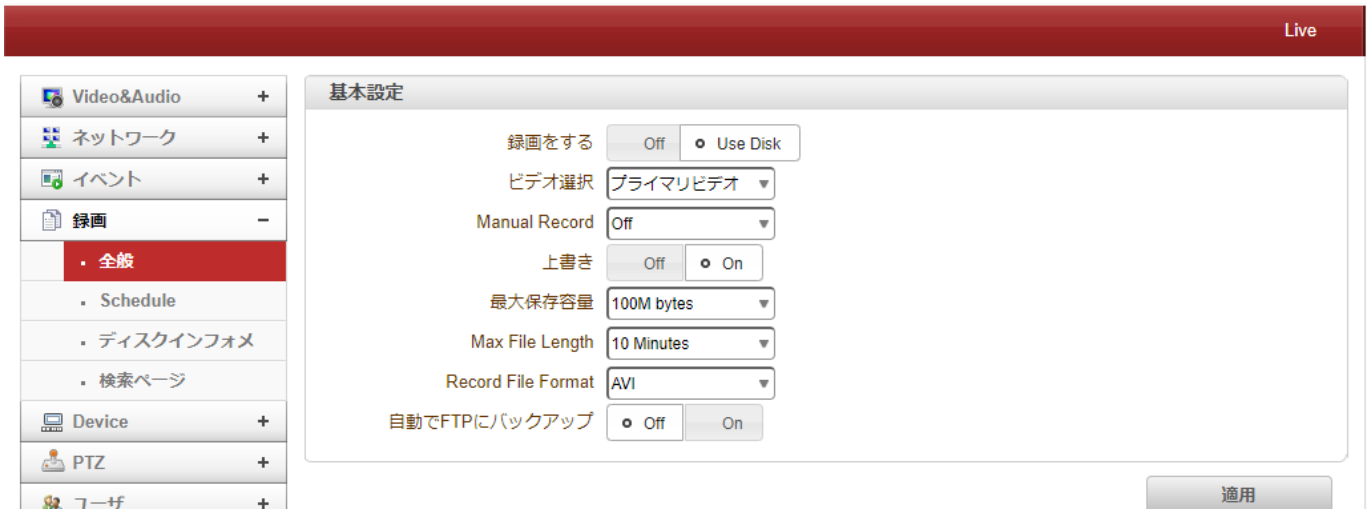
3.4.4 HTTP Action



イベント時に設定した HTTP API を動作させます。（String に HTTP API コマンドを入力する必要があります）
この機能を開始する前に、通知ページで HTTP アクションを有効にする必要があります。

3.5 録画

3.5.1 全般



- 録画をする

Off：録画機能を OFF の状態にします。

Use Disk：USB ポートに接続された USB－HDD 又は USB メモリーに録画します。

Manual Record

オンが選択されている場合、スケジュール設定に関係なく録画が実行されます。

上書き

ディスクがいっぱいになると、最も古いデータは自動的に削除されます。

最大保存容量 Max File Length/

最大ファイルサイズオプションは、一つの動画ファイルのサイズを設定できます。

録画容量が指定したファイルサイズに達したら一つの動画ファイルとして動画を保存します。

ファイルサイズを小さくしすぎると再生時間の非常に短いファイルとなるのでご注意ください。

Record File Format

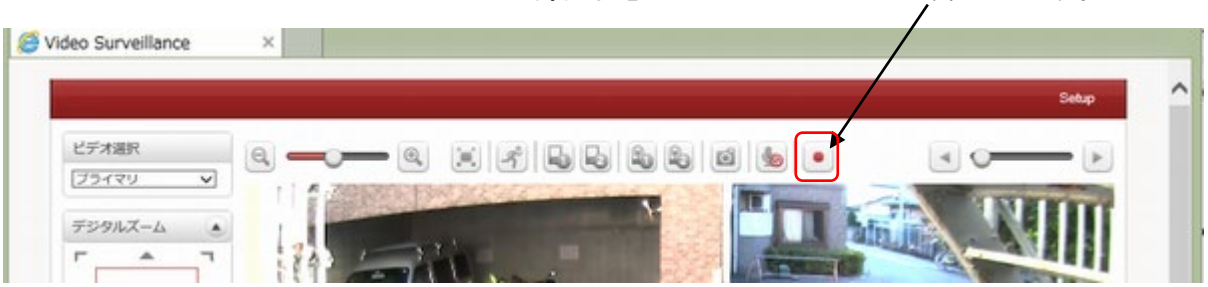
録画時の映像フォーマットを AVI か MP4 のどちらかを選択できます。

自動で FTP にバックアップ

本製品ではこの機能を使用する事は出来ません。エンコーダー機用の機能となります。

録画状態の確認

録画状態がメインビューページで確認できます。



3.5.2 Schedule

－ スケジュール表

録画スケジュールを設定できます。

連続録画を選択し、録画をしたい曜日時間を選択します。選択された箇所のセルは黒く色が変わります。

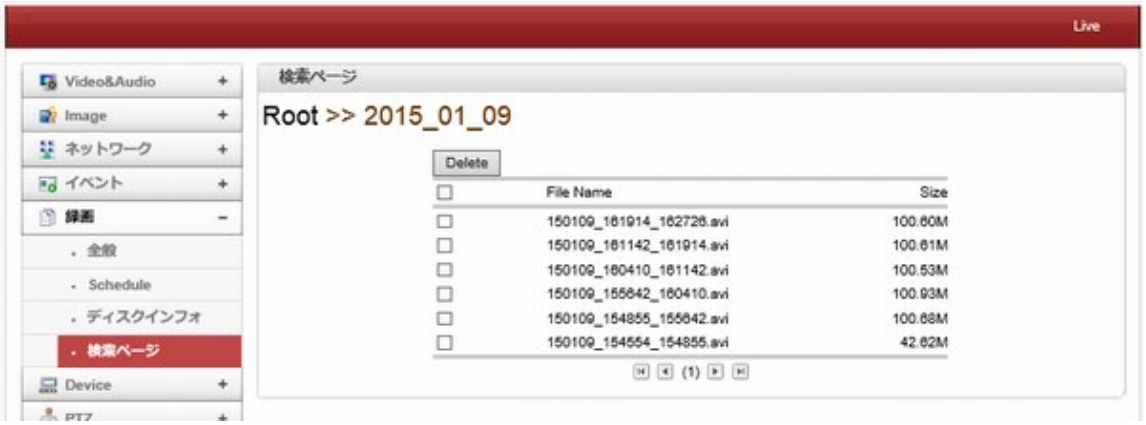
3.5.3 ディスクインフォ

USB 録画媒体を接続した後に **Format Disk** を押してフォーマットを実施してください。

ディスクの初期化が終了すると、ディスクの状態が表示されます。

表示	内容
Disk error Detected	ディスクエラーが検出された
No disk	ディスクが確認できない
Searching Disk information	ディスクの情報を検索中です。ページが更新されるまでお待ち下さい。
Mounting and Recovering Disk…	ディスクが認識できない状態です。Diskformat を試してみてください。
Disk format needed	ディスクタイプが異なるかフォーマットが異なります
Unknown disk type detected	ディスクタイプが異なるかフォーマットが異なります
USB Disk available	USB ディスク使用可能
Disk removed or in abnormal state	ディスクの削除または異常状態

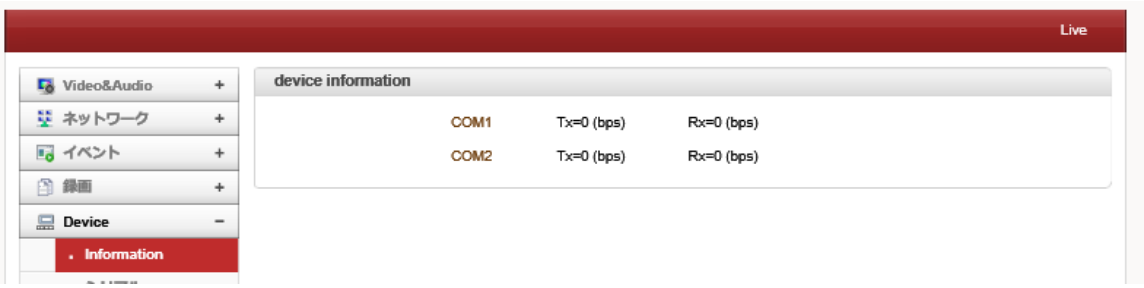
3.5.4 検索ページ



USB 録画媒体に記録されたビデオおよびオーディオデータが閲覧できます。

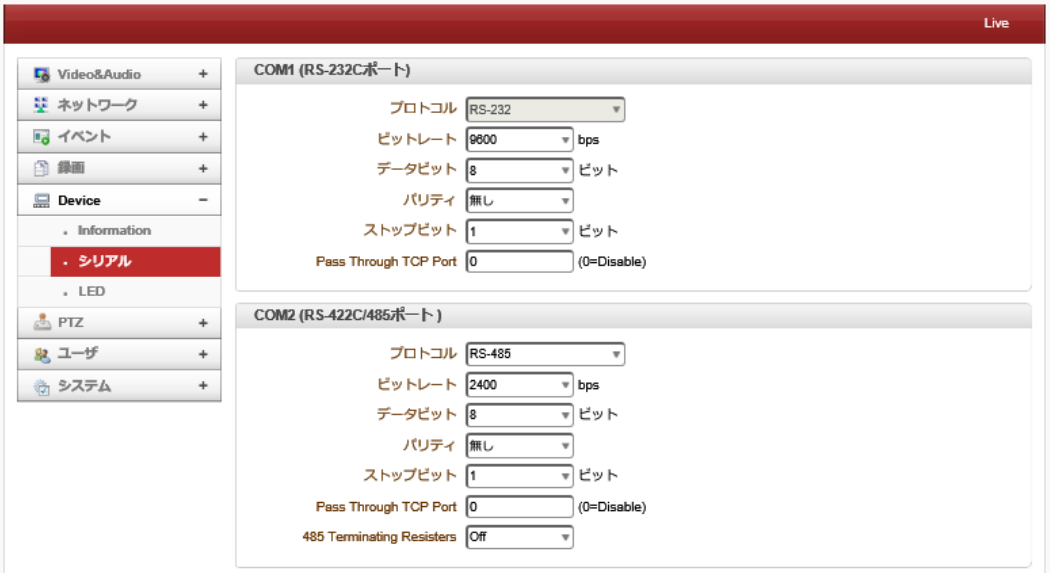
3.6 Device

3.6.1 Information



RS-232,RS-485 のポートを使って信号伝送をした際のシリアル通信状態が表示されます。

3.6.2 シリアル



シリアルプロトコル：2つのシリアルポートがあり、RS-232、RS-422/485 ポートを選択し、RS-422 または RS-485 の設定をします。

シリアルポート設定：シリアルポートを設定することができます。

シリアルポート設定は接続デバイスと同じにする必用があります。

3.7 PTZ

プリセット番号選択:プリセットを選択します。
　設定:プリセット位置を設定できます。
　設定位置へ移動:設定されたプリセット位置へ移動します。
　消去:プリセット情報を削除します。
Focus Mode:プリセット位置へ移動が実行された後のフォーカスモードを選択します。
Do not change:プリセット位置へ移動後、現在のフォーカスモードが引き継がれます。
Focus Auto:プリセット位置へ移動後、オートフォーカスモードになります。
Focus Manual::プリセット位置へ移動後、手動フォーカスモードになります。
Event Holding Time:プリセットポジションに滞在する時間を設定します。設定時間経過後は初期位置へ戻ります。
0 に設定されている場合、カメラはイベントによってプリセット位置に移動した後、元の位置に戻りません。
ラベル修正:プリセットにラベルを割り当てます。

3.8 ユーザー

3.8.1 ユーザーリスト

ユーザを追加登録することができ、ユーザの権限レベル指定ができます。
ユーザーの追加登録は管理者ユーザーのみに許可されています。

最大 16 ユーザを登録することができ、各ユーザーには 4 つの権限レベルがあります。

権限	可能な操作	備考
Admin	全ての操作	ユーザー ID = admin
Manager	ユーザー設定を除くすべての操作	
User	ライブとPTZ制御	
Guest	ライブのみ表示	

3.8.1.1 追加

追加ボタンを押すと追加ウィンドウが表示されます。

ユーザーID とパスワード(最大 15 文字)を入力します、権限レベルを選択します。

3.8.1.2 削除

削除するユーザーを選択し、削除ボタンを押してください。

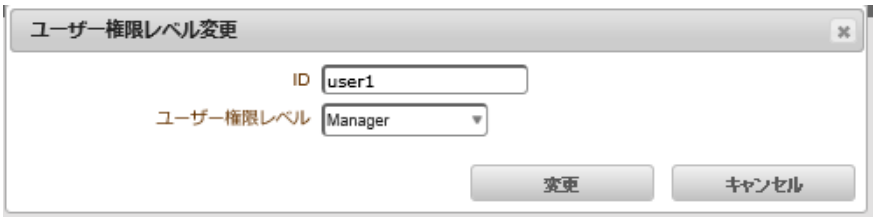
3.8.1.3 パスワード変更

パスワード変更のボタンを押す。次のウィンドウが表示されます。

現在のパスワードを入力し、新しいパスワードを設定します。

3.8.1.4 ユーザー権限変更

プレスの変更権限変更ボタンを押します、ユーザレベルを変更します。これは管理者ユーザの権限レベルを変更することはできません。

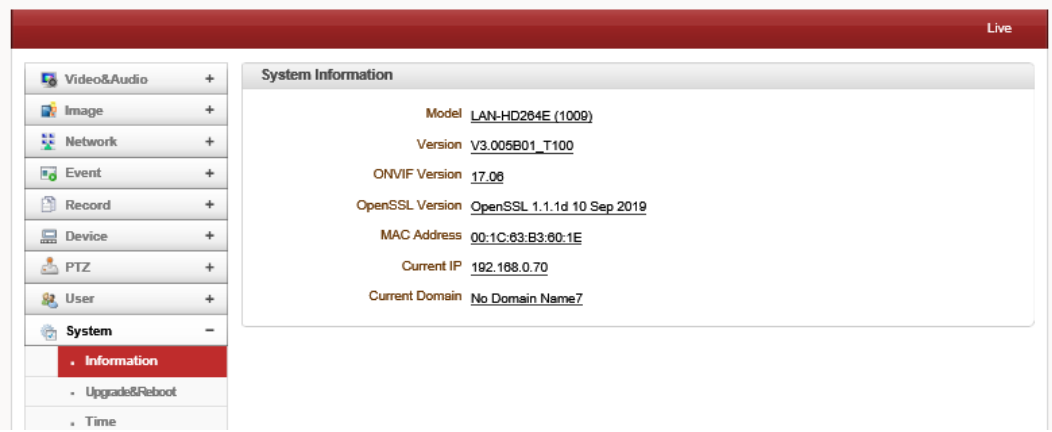


3.8.2 ログインポリシー

認証類型:HTTP 認証方式をBasicとDigestのどちらか選択できます。
ログイン省略:Onにするとログイン手順がスキップされ、サーバーへ簡単にアクセスできます。
ログインスキップ後のユーザー権限:ログイン省略可能な権限レベルを選択
RTSP 認証:Onを選択した場合、RTSP で動画配信する際にパスワード認証が必要となります。
HTTPAPI 認証:On を選択した場合、HTTPAPI で操作するさいにパスワード認証が必要となります。
Login Failure Process:ログイン失敗回数を制限できます。制限回数失敗すると、一定時間が経過しないとログインを行う事が出来なくなります。(時間も設定可能)

3.9 システム

3.9.1 System Information



- **モデル**

モデル名を表示します。

- **バージョン**

現在のファームウェアバージョンを表示します。

- ONVIF Version

ONVIF のバージョン表示

- OpenSSL Version

Open SSL のバージョン

- **MAC アドレス**

カメラの MAC アドレスを表示する。カメラは DDNS サーバに登録された場合に、MAC アドレスは DDNS 登録に使用される。

- Current IP

IP アドレスが表示されます

- **現在のドメイン**

DDNS サーバに登録されているドメイン名が表示されます。

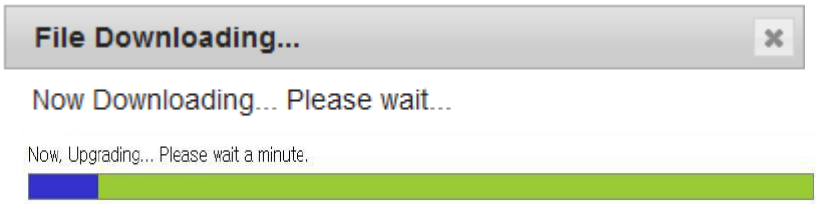
3.9.2 Upgrade&Reboot

ファームウェア

- **バージョン**:現在のファームウェアバージョンを表示
- **アップグレード**:ファームウェアをアップグレードします。

1. [参照]ボタンで、PC のファームウェアファイルを選択します。
2. [ファームアップ]ボタンで、アップグレードを開始します。
3.(ダウンロード/アップグレード)の状態を示すメッセージが表示されます。
4.アップグレードを完了した後、自動的に再起動します。

アップグレード中にサーバーの電源を切らないでください。



Config Backup&Restore

- バックアップ

現在の設定内容を PC に保存します。

- Restore

保存されている設定を、閲覧して復元することができます。サーバーは、Restore ボタンが押された後に再起動される。

リブート

サーバーを再起動します

サーバーが再起動を必要としない限り、再起動ボタンを押さないでください。

工場出荷時設定

ネットワーク はネットワーク設定以外を初期化します。

プリセット はプリセット以外を初期化します。

ユーザリスト はユーザーリスト以外を初期化します。

SSL Certificates Upload

SSL 証明書のアップデートをします。

3.9.3 時刻

システム起動時刻:サーバーの最新ブート日時。
現在の時刻:現在の日付と時刻。
Set Time:新しい日付と、時刻を更新する場合「設定現在時刻設定」ボタンを押して日付と時間を入力します。

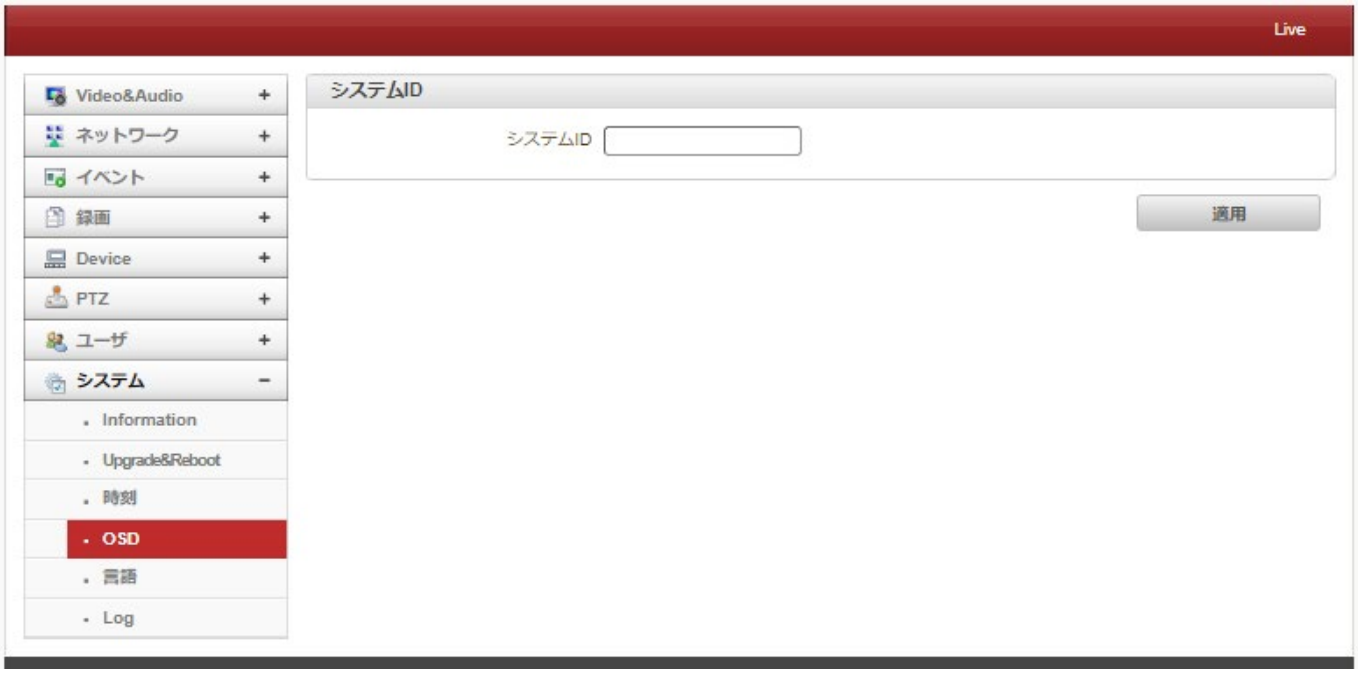
タイムフォーマット
時刻の形式を変更します。選択可能な時間フォーマットは以下の通りです。
Ⅰ、YYYY/ MM/ DD HH:MM:SS(例:2012/10.30　12 時 30 分 45 秒)
II、 DD / MM は/ YYYY hh:mm:ss(例:2012 年 10 月 30 日午前 12 時 30 分 45 秒)
III、 MM/ DD/ YYYY HH:MM:SS(例:30/10/201212 時 30 分 45 秒)
タイムゾーン
サーバーが設置されている国のタイムゾーン選択。
地域によっては、夏時間が自動的に動作します。
日本は(GMT+9 時間です)

タイムゾーンは UTC「 Universal Time, Coordinated」協定世界時を使用しています。 世界各国や地域で採用されている標準時は、UTC よりも何時間か進んでいるか、何時間か遅れているのかで UTC+1(フランスなど)や UTC+9(日本など)のように表記します。

NTP サーバー名　NTP サーバーと時刻の同期を行う時に使用します。
NTP サーバー名は希望のサーバーを入力します。
適用 をクリックすると同期を開始します。

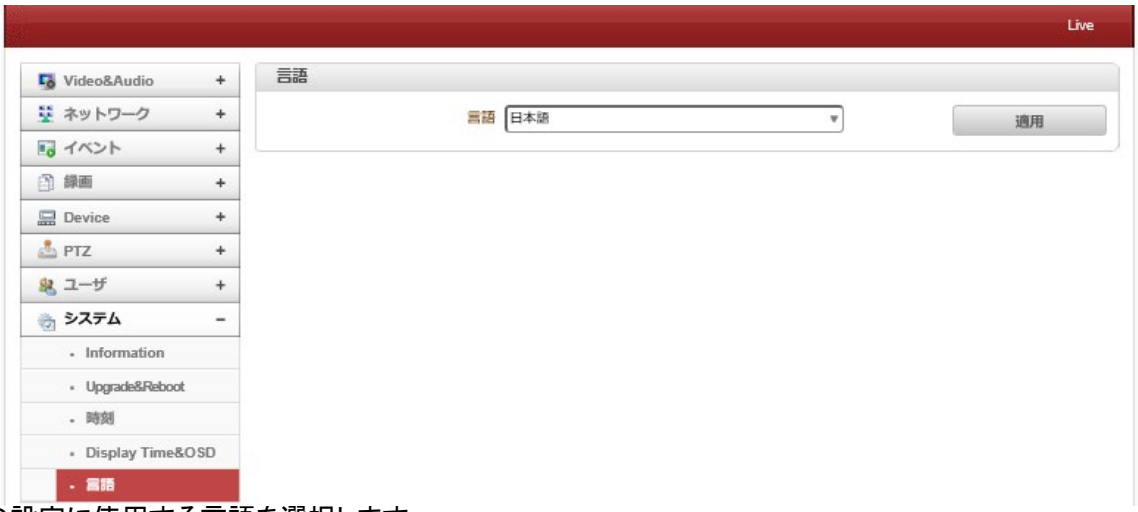
ネットワークタイムプロトコル(NTP)は、可変遅延データネットワークを介してコンピュータシステムのクロックを同期するためのプロトコルである。これは、ジッタバッファを使用して、可変遅延の影響に耐えるように特に設計されている。 NTP サーバーは各国にサーバーが有り、国内にも多くの NTP サーバーが有ります。

3.9.4 OSD



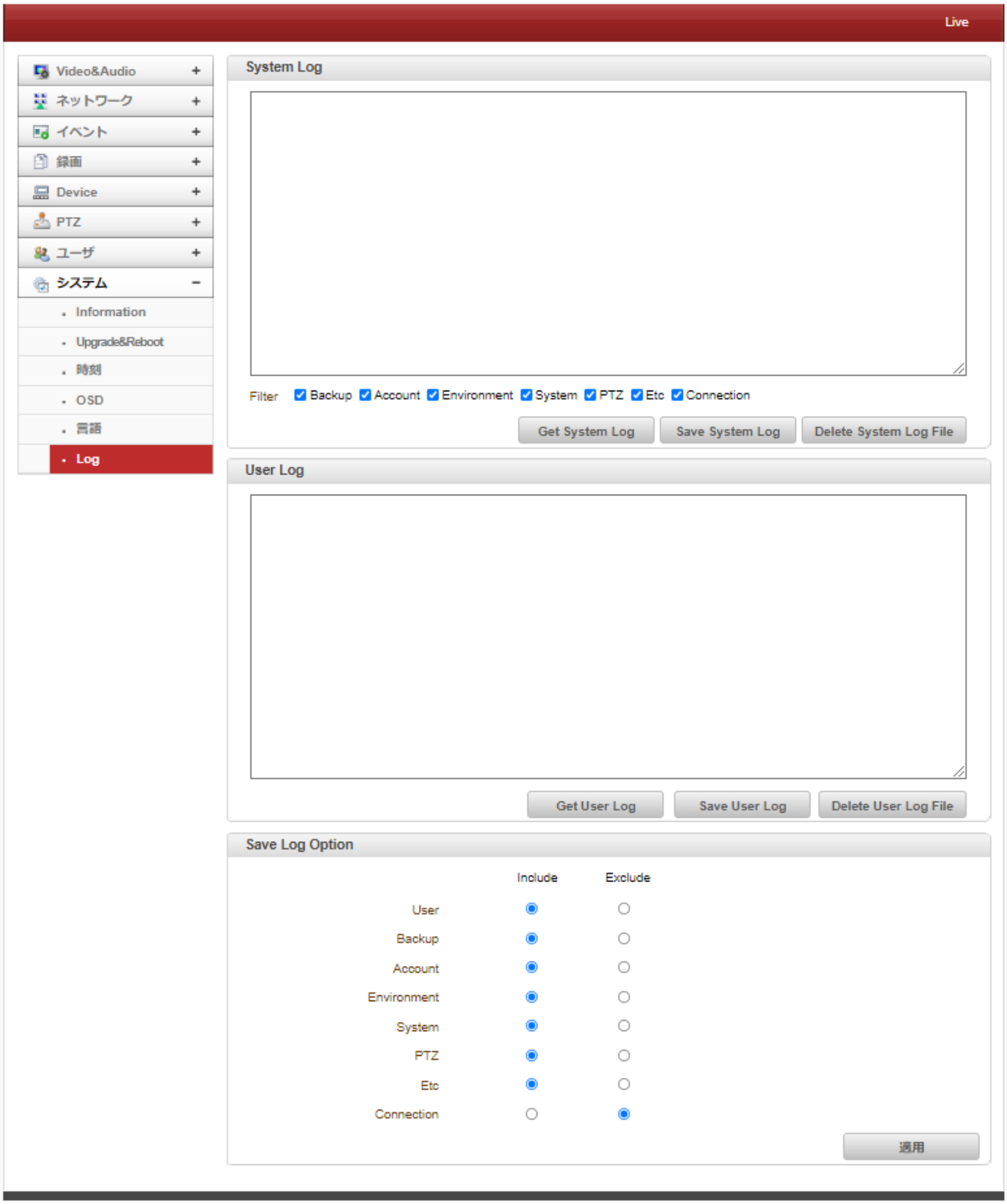
システム ID：サーバーのタイトルとして使用されているシステム ID を入力すると画面に表示されます。

3.9.5 言語



Web ベースの設定に使用する言語を選択します。

3.9.6 LOG



- システムモード

ビデオサーバーのログを表示し、txt ファイルとして保存できます。 さまざまなフィルターを選択できます。

- ユーザーログ

ユーザー（クライアント）ログを表示し、txt ファイルとして保存できます。

- ログ保存オプション

さまざまなオプションを含めたり除外したりできます。

4. 仕様

モデル	LAN-UHD265D-1	
機能	Decoder（受信）	
映像	チャンネル数	最大4
	映像圧縮方式	H.265 / H.264 / MJPEG
	出力解像度	320x240 ～3840x2160
	フレームレート	1 ～ 60fps @ 3840x2160
	ディスプレイ表示設定	多言語 (英語・韓国語・フランス語・ドイツ語・スペイン語・イタリア語・ロシア語・日本語・スウェーデン語・ポルトガル語・オランダ語・ハンガリー語・フィンランド語・特別な記号)
	映像出力	1xHDMI(Type A)/1xComposite(BNC)
音声	圧縮方式	G.711 / AAC(Option)
	音声データレート	G.711 : 8 KHz, AAC(Option) : 32 kHz / 44.1 kHz / 48 kHz
	音声サンプリングレート	G.711 : 64Kbps, AAC(Option) :32Kbps/64Kbps/128Kbps/192Kbps
	音声双方向	Full duplex　Audio
	音声入力	1 x Line-In (mini-stereo type)
	音声出力	1 x Line-Out (stereo, mini-stereo type) / HDMI
ネットワーク	プロトコル	IPv4/v6 / TCP / UDP / IGMP(Multicast)/ ICMP/ DHCP/HTTP/HTTPS/ RTMP/ SRT / RTP / RTSP / FTP / SNMP /SMTP/ UPnP / WS-Discovery / Zero Configuration /NTP/ DDNS
	インターフェース	1 x Ethernet 10/100/1000Base-T (RJ-45)
	セキュリティー	パスワード、IP アドレスフィルタリング、HTTPS、AES-128/256
	アプリケーション開発	専用プロトコル/SDK,ONVIF,PSIA,MPEG-TS
シリアル通信	シリアルポート	RS-232C: 1port (Terminal Block)　RS-422/485:1port (Terminal Block)
	通信速度	2,400 ～115,200bps
接点入出力	センサー入力	2 port ノーマルオープン(Terminal Block)
	アラーム出力	2 port ノーマルオープン(Terminal Block)
	ブザー	1 x Buzzer (88dB min)
録画	バックアップ	外付けUSB メモリー又は外付けHDDにAVI ファイルをサイズ指定で録画
イベント/アラーム	イベントソース	モーション/センサー入力/ビデオ損失/切断
	イベントアクション	通知（Eメール）/ FTP / PTZプリセット / アラーム制御 / 録音
一般	装飾	黒 / アルミニウム
	ストレージ	1 x USB 3.0 port
	電源入力	Min DC12V/2.5A, PoE(Power over Ethernet): 802.3af
	消費電力	DC12V/PoE : 最大 15W
	動作温度/湿度	-10° C ~ 50° C / 90% RH未満
	サイズ(W*D*H)	134.0(W) X 125(D) X 33.0(H)mm
	重量	560g

5. 付録

5.1 センサー＆アラームポート

5.1.1 センサーポート

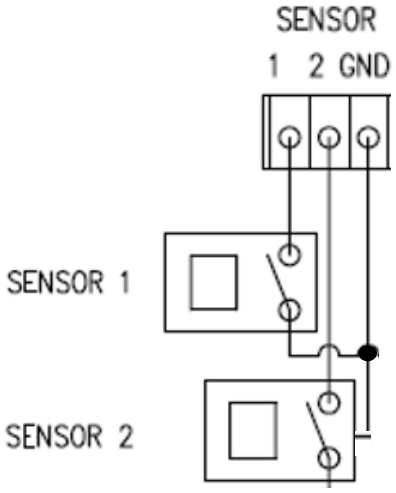
ターミナル接続タイプ
- 定格電圧：150VAC
- 定格電流：2A
- カラー：レッド

5.1.1.1 センサ信号入力タイプ

- ノーマルオープン接点信号

外部デバイスへの接続

*センサー1は本機では映像切替用途に使われている為センサー信号伝送用途には使用できません。



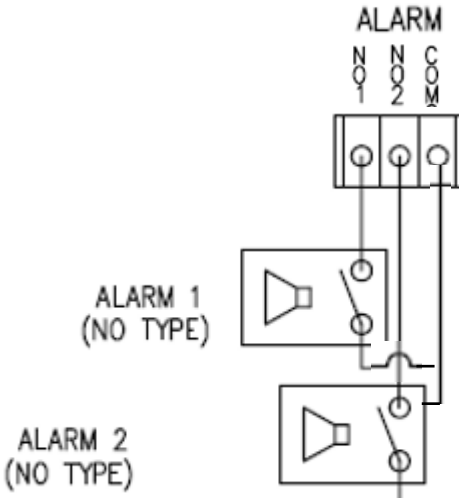
5.1.2 アラームポート

ターミナルタイプ
- 定格電圧：150VAC
- 定格電流：2A

リレータイプ
- 連絡先の評価：1A の 30VDC
- スイッチング電力：最大 30W62.5VA
- スイッチング電圧：最大 60VDC

アラーム信号出力タイプ
- NO / NC の接点信号

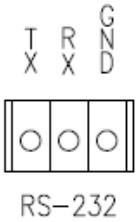
外部デバイスへの接続



5.2 :Serial ポート

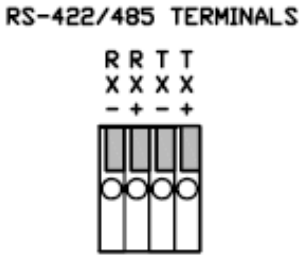
5.2.1 RS-232 ポート

ポートタイプ
- 3 ピン
- ピンアサイン



Pin NO	Pin Name	Description
1	TX	RS232 TX(Transmit)
2	RX	RS232 RX(Receive)
3	GND	Ground

5.2.2 RS-422/485 ポート



ポートタイプ

- 4 ピン
- ピンアサイン

端子説明

Pin No.	Pin Name	Description
1	RX−	RS422 RX−
2	RX+	RS422 RX+
3	TX−	RS422 TX− or RS485 TRX− It is selectable by S/W Setup
4	TX+	RS422 TX+ or RS485 TRX+ It is selectable by S/W Setup

5.3 映像切替機能

センサーポート1へスイッチを接続し、ON/OFF を行うと映像が切り替わります。

CH1→CH2→CH3→CH4→4 分割→2分割→Ch1 と映像が切り替わります。

ⓒCopyright (2022)　isec Corporation